

令和7年度がん検診日程表

検診名	対象年齢	期日	個人負担金	詳細
胃がん検診	40歳以上の男女	6月6日 (金)	国保 900円	今年度より 特定健診との同日 になります。 胃がん検診のみの受診は可能 です。 食道、胃、十二指腸の内面をみるための検査です。バリウムを飲み、X線を通して胃の内部などに突起やくぼみなどがないかをみます。 毎年受けることもできますが、厚生労働省は2年に1回の受診を勧めています。
		6月9日 (月)	後期高齢 900円	
		6月10日 (火)	社保等 1,800円	
		参考: 検診料金 6,050円		
肺がん検診	40歳以上の男女	8月21日 (木)	国保 1,300円	ヘリカルCT検査を行います。この検査で、従来は見つけにくかった2cm以下の小さな早期がんも発見できるようになりました。甲状腺や腎臓、心臓など周辺臓器の異常も発見されることがあります。 今のところ肺がんCT検査は、厚生労働省の指針に定められた検診とはなっていません。
		9月2日 (火)	後期高齢 1,300円	
		9月25日 (木)	社保等 2,600円	
		参考: 検診料金 8,800円		
乳がん検診	30歳以上の女性	4月23日 (水)	国保・後期高齢 1,100円	乳がんは30年前と比べると罹患率が約3倍に増加しているといわれています。この検診では、マンモグラフィと超音波の2種類の検査を行うことができ、細かく、詳しく乳房の状態を確認することができます。 毎年受けることはできますが、厚生労働省は、40歳以上の方が2年に1回受診されることをお勧めしています。
	※子宮がん・骨粗しょう症検診と同時実施	10月23日 (木)	社保等 2300円	
			JA婦人国保・後期 500円	
		10月30日 (木)	JA婦人社保等 1,700円	
		参考: 検診料金 7,700円		
子宮頸部がん検診	20歳以上の女性	4月23日 (水)		子宮頸部の細胞をとり、細胞に異常がないかを確認します。 毎年受けることはできますが、厚生労働省は、2年に1回の受診をお勧めしています。
	※乳がん・骨粗しょう症検診と同時実施	10月23日 (木)	JA婦人 700円	
			JA婦人以外 1,300円	
		10月30日 (木)	参考: 検診料金 4,510円	
骨粗しょう症検診	20歳以上の女性	4月23日 (水)	国保 300円	骨量測定装置の上に足をのせ、超音波をあてて確認します。
	※乳がん・子宮がん検診と同時実施	10月23日 (木)	後期高齢 300円	
			社保等 700円	
		10月30日 (木)	参考: 検診料金 2,200円	

- ◎ 今年度より今まで実施されてきた**胃がん単独検診が廃止され、特定健診と同日の実施**になります。そのため、**特定健診日の3日間のみ**に**胃がん検診を行うこととなります**。ご了承ください。
- ◎ 検診会場は、**乳・子宮頸がん・骨粗しょう症検診・胃がん検診**については、**村体育館**で行います。**肺がん検診のみ中央公民館**で行います。ご注意ください。
- ◎ 日程や料金が変更することが予想されます。申し込みをされた方には、検診日が近づきましたら個別に案内を送付しますので、内容のご確認をお願いします。
- ◎ 検診の申し込みを家族の方が代理で書かれる場合は、必ずご本人の意向を確認してから記入して頂きますよう、お願いします。

令和7年度に総合健診・脳ドックの対象となるのは、令和7年4月1日～令和8年3月31日までに30・33・36・39・42・45・48・51・54・57・60・63・66・69歳になられる方です。対象となる方には、がん検診希望調査票と合わせて、人間ドック事業検査内容についての資料をお送りしていますのでご確認ください。